

日本ペインクリニック学会 第6回九州支部学術集会

皆様、佐賀大学医学部附属病院ペインクリニック・緩和ケア科の山田信一と申します。

この度、日本ペインクリニック学会第6回九州支部学術集会を、2026年2月7日(土)にアバンセ(佐賀県立男女共同参画センター佐賀県立生涯学習センター)(佐賀市)において開催することとなりました。

今回のテーマは“ペインクリニックを次世代に架ける橋”とさせていただきます。

私は2023年からは佐賀大学へ移りました。佐賀大学は平川奈緒美先生が創設されたペインクリニック・緩和ケア科という診療科があり、日本にも非常に稀な診療科を創設していただいたことは大きな功績と思われます。このペインクリニック・緩和ケア科という看板を背負いながら、次世代のペインクリニシャンを育てるのが私の今の目標となっております。田代章悟先生の明日に向かって¹⁾という目標と前田愛子先生の「九州は一つ!!」の盛り上がり²⁾は私にも大きな刺激となり、現在、この二人の協力を得て、九州ではSPGs(九州ペインクリニック技術援助会:Sustainable Painclinicians Technical Assistance Goals)を発足し運営できることとなりました。私たちが苦しみながら、細々と築き上げてきたものを是非とも次世代にも繋いでいきたい!決して独りよがりの診療ではなく、皆で考え、皆で悩み、皆で解決できるような場所を提供していきたい!という思いからの発足でした。

ペインクリニシャンは時に麻酔科医との距離ができると孤独感に陥ることがあります。決して一人で戦っていくのではなくて多くの仲間がいて、いつでも支えあうような環境作りが出来たのも、九州は一つという精神が根底にあるからだと思います。この九州は一つという精神は、私が苦しんで診療にあたっていた際に、当時宮崎大学の田中信彦先生から声をかけていただいたのがきっかけでした。お互いに同じような寂しい環境で頑張っていて、何かしら共通する心情が重なったのかと思います。そして同じような気持ちの人たちがきっと多くいるに違いない!そう感じて仲間になりそうな人に声をかけていきました。その当時は九州の密会(九州飲み会)と命名して、乾杯の時に「きゅうしゅうはひとお〜つ」と叫んだものです。九州の密会は時を経て SPGs という立派な組織に生まれ変わりました。今までにたくさんの方々と盃を交わせたことは本当に良い財産となりました。

今後も、多くの先生方のお力添えを賜りながら九州の発展、ペインクリニック学会の発展に寄与していきたいと考えて、患者さんと向き合っていきたいと思います。

取柄はないけど ペインが好きなのも才能だと思っています。ペインクリニシャンが診療を十分に行っていくためには、ペインだけじゃあだめですか?と考えるきっかけになればと思っています。

本学術集会では、一般演題と特別講演を行い開催する予定です。学術集会の後には、九州支部が一つにまとまっていくために更なる親交を深めるべく、ささやかではありますが懇親会も予定しております。

多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

謹白

2025年7月吉日

日本ペインクリニック学会 第6回九州支部学術集会

会長 山田 信一

(佐賀大学医学部附属病院 ペインクリニック・緩和ケア科 診療教授)

1) 田代章悟. 明日に向かって. ペインクリニック 45;2024:1103-1104

2) 前田愛子. 「九州は一つ!!」の盛り上がり. ペインクリニック 46;2025:235-236